

府中市の「食」

～諸田ごんぼうを守りたい～

日 時 令和4年9月21日(水) 第5校時

場 所 5年1組教室

学 級 第5学年1組 (40名)

1 単元のデザイン

本単元の目標

諸田ごんぼうに関わる人々の思いや願いに出会う中で課題を見つけ探究することを通して、問題を解決するためには、それに関わる人々がそれぞれの立場でお互いに協力し合うことが大切であることに気づき、自分も地域の一員として地域のために進んで行動しようとするができるようにする。

単元観

府中市は、平地が少なく農業をするには地形的に恵まれていないが、本市中部の諸田地域は古くからごんぼうの産地として知られている。諸田ごんぼうは、府中市諸毛町の赤土の急傾斜地を利用して育てられるごんぼうであり、始まりは大正時代に遡る。当時の尋常小学校の作物担当教諭が、諸田の土地に合い、冬季の農閑期に収穫を迎えるごんぼうの栽培を勧めたことがきっかけで諸田の土地でごんぼう作りが始まった。太く柔らかく香りがよいとされているが、生産量に限りがあり、市場にはほとんど流通しないため「幻のごんぼう」とも呼ばれる。

そして現在、諸田ごんぼうは、農家の高齢化・後継者不足という課題に苦しんでいる。その中で、農家を始めとするごんぼう組合、市役所、JAなどがそれぞれの立場から諸田ごんぼうの存続のため、「ごんぼう祭り」や「まるっと諸毛！」など諸田ごんぼうや農業に関心をもってもらうためのイベントに取り組んでいる。

そこで、本単元では、諸田ごんぼうに関わる人々（農家、組合、JA、市教委）の思いや願いを知ったり、人々がお互いに協力しながら課題に立ち向かう姿勢や努力を知ったりする中で、課題の解決には、それに関わる人々がそれぞれの立場でお互いに協力し合うことが大切であることに気づき、自分も地域の一員として、小学生という立場でできることを考え、課題の解決に取り組もうとすることができるようになることをねらいとしている。

児童生徒観

昨年度の学習を想起して行った意識調査の結果は以下の通りである。

内容	肯定的評価
総合的な学習の時間は、前向きに取り組もうと思えます。	91%
課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしています。	88%
情報を比べたり、仲間分けしたり、関係を見付けたりして、何が分かるのか考えています。	88%
自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。	78%
学習の進み具合を見て、学習計画を見直しています。	75%
学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか」、「学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。	84%
府中市特産の農作物を知っている。	59%
府中市特産の農作物の魅力を語れる。	0%

以上の結果から、本学級の児童は、総合的な学習の時間に前向きに取り組もうとしていることが分かる。その一方で課題は2点挙げられる。1点目は、地域の農業への関心の低さである。これは、児童はこれまでに日々自分が口にする農作物への興味関心があまり無かったことと、1学期に農業に関わる「本物の人・もの・コト」との出会いが無かったことが原因であり、浅い知識を得ただけで満足し、知識を広げたり深化したりしようとする意欲が芽生えなかったと考えられる。2点目は、相手を意識した発表ができていなかったことである。形式的に理由をつけて発言することはできるが、伝える対象がどんな特徴を有し、何が効果的か等を意識する機会がこれまでに少なかったことが理由として考えられる。

指導観

- 同じ府中市に生きるごんぼう農家から諸田ごんぼうの魅力や価値を教わることで、諸田ごんぼうが抱える課題を自分が解決すべき課題として捉えることができるようにする。
- 伝える対象の分析に思考ツールを用いることで、相手についての理解を促し、必要な情報や効果的な方法などを考え、工夫することができるようにする。
- 諸田ごんぼうに関わる価値（人々の努力など）と出会えるよう、活動や振り返りの中で価値を問う切り返しを行う。

2 単元の評価規準

評価の観点		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①地域の農作物のよさやそれに携わる人々の願い、関わる人々がお互いの立場から協力して課題の解決に向けて取り組んでいることを理解している。</p> <p>②インタビューによる情報収集やポスター発表などの表現活動を、相手や目的に応じて実施している。</p> <p>③食に対する自分の意識や行動の変容は、食の問題や生産者の願い等について探究的に学んだことによる成果であると気付いている。</p>	<p>①地域の食に関わる諸問題から課題を設定し、解決方法を考えている。</p> <p>②目的に応じて、必要な情報を十分に収集している。</p> <p>③課題解決に向けて、収集した情報を比較したり、分類したり、関係付けたりしながら、解決に向けて考えている。</p> <p>④課題解決のために、伝える相手や目的に応じて自分の考えをまとめ、表現している。</p> <p>⑤自分の考えを理由や客観的な根拠を示して、伝えている。</p>	<p>①課題解決に向けた取組を考えたり実行したりする中で、自他のよさを生かしながら、友達や地域の人と協働して探究活動に取り組もうとしている。</p> <p>②課題解決に向けて、試行錯誤しながら粘り強く取り組もうとしている。</p> <p>③課題解決に向けた自分の取組や状況を振り返り学習を進めようとしている。</p>

3 本単元に関わる問い

本質的な問い	単元を貫く問い	個別の問い
<ul style="list-style-type: none"> 自分は地域の食とどう関わっていくべきなのだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> 諸田ごんぼうを守るためにはどうすればよいのだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> 府中市にはどんな農作物があるのだろうか。 諸田ごんぼうはどんな特徴があるのだろうか。 諸田ごんぼう農家の人はどうして農家をしているのだろうか。 府中市では、農作物を有名にするためにどんな取組をしてきたのだろうか。 諸田ごんぼうをPRするためには、どんな方法があるだろうか。

4 単元の指導計画(全60時間)

	ねらい・学習活動(時数)	知	思	態	評価方法
一 (25)	<p>府中市の有名な農作物って何だろう</p> <p>課題の設定</p> <p>「食」というテーマのもと、何をしたいのか課題を設定する。</p> <p>情報の収集</p> <p>育てたい野菜と府中市のつながりや、育て方を調べる。</p> <p>農作物を育てる。</p> <p>整理・分析 ふり回り</p> <p>調べたり、実際に育てたりしながら分かったことや困ったことをお互いに共有する。</p>				<p>・ロイロノート・スクール</p> <p>・ノートの記述</p> <p>②</p> <p>・ロイロノート・スクール</p> <p>・発言内容</p> <p>③</p> <p>・発言内容</p> <p>・ロイロノート・スクール</p>
二 (35)	<p>諸田ごんぼう存続のために自分達ができることは何だろう</p> <p>情報の収集</p> <p>農家や農林課の方などから地域の農作物についての特徴、生産者や関係者としての願いや思いを聞く。</p> <p>課題の設定</p> <p>府中市の特産品である諸田ごんぼうに関する問題を自分の課題として捉える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>諸田ごんぼうを守るために何ができるだろう。</p> </div> <p>課題解決の方向性を具体的に決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者を増やす ・消費者を増やす ・認知度を上げる <p>情報の収集</p> <p>本やインターネットを通して、諸田ごんぼうの特徴やこれまでの取組などについて調べる。</p> <p>「諸田のごんぼう祭り」について調べ、ごんぼう祭りを生かして取り組めることを考える。</p>	②	①		<p>・ノートの記述</p> <p>・インタビューの様子</p> <p>・発言内容</p> <p>・ノートの記述</p> <p>①</p> <p>・発言内容</p> <p>・ノートの記述</p> <p>②</p> <p>・ロイロノート・スクール</p> <p>②</p> <p>・発言内容</p> <p>・ノートの記述</p>

<p>「諸田のごんぼう祭り」を主催する諸田ごんぼう組合の方に、ごんぼう祭りに向けて自分達も取組を行ってもよいか伺う。</p> <p>周囲の人にアンケートをとり、諸田ごんぼうの認知度や、実際に買われているのかどうか等の実態調査を行う。</p> <p>ごんぼう畑に赴き、実際の諸田ごんぼうを見たり、ごんぼう農家や農林課へのインタビューを行ったりしながら、知識を深め、諸田ごんぼうに関わる人々の思いや願いを知る。</p> <p>関係者から話を聞く中で、様々な人々がそれぞれの立場で諸田ごんぼうに関わっていることを知る。</p> <p>整理・分析</p> <p>「諸田のごんぼう祭り」へ向けて、目的に合わせて、誰を対象に、どんな方法を用いるか決める。</p> <p>自分がアピールする対象に合わせて、集めた情報を整理し、アピールに必要な情報は何か分析する。</p> <p>ごんぼう組合の方に向けたプレゼンの用意を行う。</p> <p>「諸田のごんぼう祭り」主催のごんぼう組合の方に自分達の取組についてプレゼンし、評価をもらう。</p> <p>評価を基に、表現方法や内容を再検討し、再度評価をもらう。</p> <p>まとめ・表現</p> <p>それぞれのチームで決めた手段でアピールを行う。</p> <p>課題の設定</p>	<p>②</p> <p>①</p> <p>①</p> <p>③</p> <p>④</p> <p>⑤</p> <p>②</p> <p>④</p> <p>①</p>	<p>②</p> <p>②</p> <p>①</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノート・スクール ・発言内容 ・ロイロノート・スクール ・ノートの記述 ・発言内容 ・ロイロノート・スクール ・ノートの記述 ・発言内容 ・表現物 ・発言内容 ・表現物 ・ノートの記述 ・表現物
<p>自分達の活動を振り返り、課題が解決されたか検証する。</p>	<p>①</p>	<p>①</p>	
<p>情報の収集</p> <p>自分たちの活動の成果があったのか検証するために必要な情報を収集する。</p> <p>整理・分析</p> <p>集めた情報から活動の成果を検証し、活動の内容や方法について振り返る。</p>	<p>②</p> <p>③</p> <p>④</p> <p>⑤</p>	<p>②</p> <p>①</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発言内容 ・ノートの記述 ・発言内容 ・ロイロノート・スクール

	振り返り 自分達の学習や活動によって、自分の生き方や考え方がどのように変容したのか振り返る。	③			・ノートの記述
--	--	---	--	--	---------

5 本時の目標及び学習展開

(1) 本時の目標

自分達が設定した課題は解決されたのか、これまでの自分たちの活動を振り返り検証するためにはどのようなことをすればよいか検証計画を立てている。

(2) 本時の学習展開

主な学習活動（○主な発問）	○指導上の留意点 ★評価規準，※評価方法						
<p>1 アンケートの結果を確認する。</p> <p>○この間のアンケートの結果が出ました。どんな結果になったと思いますか。</p> <p>5年生の課題「諸田ごんぼうを守る」は解決できたと思いますか。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>解決できた</td> <td>28.9%</td> </tr> <tr> <td>解決できなかった</td> <td>23.7%</td> </tr> <tr> <td>どちらとも言えない</td> <td>47.4%</td> </tr> </table> <p>○みんなは結果を見てどう思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意外に「どちらとも言えない」が多かった。 ・活動した＝解決できたじゃないかもしれないと思った。 ・同じ意見でも理由が違う。 →判断基準のブレ ・たしかに、自分達の活動による影響があるかどうか分からないからどちらとも言えないと思った。 ・お祭りの売上や参加人数だけの情報では、たしかに判断できないと思いました。 →判断材料の不足 <p>2 課題を設定する。</p> <p>○先生は、このアンケートの結果を見て解決できたかどうか判断するのに困ってしまいました。どうすればよいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「どちらとも言えない」の人が判断できる情報があればよいと思う。 ・解決できたかどうかを判断できる情報を集めればよいと思います。 ・情報をそろえてからもう1度、解決できたかどうかアンケートを取ればよいと思う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <p>④ 課題が解決できたのか検証するために計画を立てよう。</p> </div> <p>3 検証に必要な情報について考える（班→全体交流）</p> <p>○3つの課題が解決できたかどうか、それぞれ検証するための情報はこれだけでよいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よくない。もっと必要。 <p>買う人を増やす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お祭りで買った人数 ・道の駅などお祭り以外で買った人数 →ポスターを見て買おうと思ったかどうか調べる必要がある 	解決できた	28.9%	解決できなかった	23.7%	どちらとも言えない	47.4%	<p>○アンケートの結果について予測させることで関心を引き出し、知りたいという意識を高める。</p> <p>○知りたいという意識をもったことに対して肯定的な声掛けをする。</p> <p>○「守る」とは、①買う人を増やす②知っている人を増やす③ファンを増やすであることを掲示しておく。</p> <p>○選択した理由の一覧も配付する。</p> <p>○班で話し合った後、全体で考えを交流する中で、判断の基準のブレや情報不足など、判断するに至れない理由を共有していく。</p> <p>○活動の成果を確かめる＝検証であることを押さえる。</p> <p>○班でグルーブトークを行う際、白い紙や枠のある紙を用意し、必要があれば使うよう声をかける。</p> <p>○グルーブトーク中、曖昧な情報（例：買った人数）のままになっているものがある場合には問答を行い、「どこで」「いつ」など情報を具体的にしていく。</p>
解決できた	28.9%						
解決できなかった	23.7%						
どちらとも言えない	47.4%						

知っている人を増やす

- ・諸田ごんぼうを知っているかどうか
 - ・何をきっかけに知ったのか
 - ・どれくらい知っているのか
 - ・見たことがあるか
 - ・食べたことがあるか
- 結果によってはチラシの内容を変えた方がよいかもしれない

ファンを増やす

- ・来年もごんぼうを買おうと思うか
 - ・キャラクターをどう思ったか
 - ・グッズをどう思ったか
- 実際に買った人やグッズをもらってくれた人に聞かなければ分からないことばかり

○これらの情報はどうやって集めますか。

- ・竹内さんに聞く
 - ・道の駅の駅長さんに聞く
 - ・周りの人にアンケートを取る
 - ・お祭りに来た人に聞く
- 今からでは難しい

○次の時間は何をしますか。それまでに準備しておくことはありますか。

- ・身の回りに今年ごんぼう祭りに行った人がいるかどうか聞いてみる

4 振り返りを行う。

○今回勉強になったこと、次回したいことを書いておきましょう。

- ・何か活動するときには効果を検証できるように準備する必要があることが分かった。次回は竹内さんに質問するための内容を考えた
- い。

○祭りでのアンケートなど、今からでは実施不可能な情報収集方法があることに気付いた場合は、単に失敗とするのではなく、活動する際には検証を想定して事前にアンケートの準備をすることの大切さを教えると共に、どんなアンケートにするべきか問う。

★自分たちの活動を振り返り検証するためにどのようなことをすればよいか計画を立てている。

(思判表①)

※発言、ノート